

施設の床から考える 骨折事故ゼロ対策

安心して下さい！二重床ですよ

特別養護老人ホーム高麗
内野紅 大石彩乃

施設紹介

- 特別養護老人ホーム高麗(従来型特養)
定員70人(うち20人ショートステイ)
平成9年4月開設
- ユニット型特別養護老人ホーム高麗(ユニット型特養)
定員60人(うち10人ショートステイ)
平成27年4月開設 ※従来型特養同敷地内(焼津市)に併設

隣り合う2つの施設において発生した1年間の事故について、比較検討し、ユニット型特養に採用した二重床の骨折事故防止効果について調査しました。

日常生活に潜む転倒・転落事故

高齢者が日常生活を営む上では、様々な事故が起こることがあります。
中でも8割を占めているのが、転倒・転落事故です。

転倒
転落

骨折

寝たきりなど
生活に大きな
変化が起こる

転倒・転落事故を減らすことは 出来るのか？

様々な視点から事故軽減の為、検討しています。

- 例えば・・・立ち上がりやすいベッドの高さ
 - 歩きやすい歩行器の使用
 - 掴まりやすい家具の配置
 - 日常生活動作から見る行動予測
- によって事故件数を減らすことが可能です。しかし……

転倒
転落

骨折

寝たきりなど
生活に大きな
変化が起こる

ゼロには
できない

転倒
転落

骨折
しない

今までと同様の
暮らしが継続
できる可能性が
高い

減らせな
いか？

転倒・転落事故による骨折事故を防止することは出来るのか？

起こり得る転倒・転落事故に対して、衝撃を緩和する方法はないだろうか……？



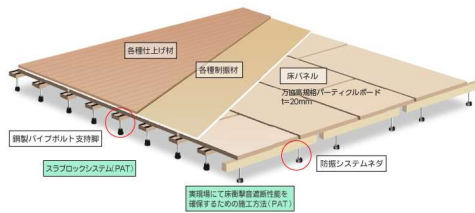
二重床構造

転倒・転落事故による骨折事故を防止することは出来るのか？

脅威の床、あなどれない床、安心の床、
今日からあなたは床の虜、
それが……
二重床

二重床構造とは……？

ユニット型特養で採用した二重床構造



構造比較

	ユニット型特養	従来型特養
床構造	二重床構造	コンクリート床・直張り
床構造写真		
床下空間	15cm	なし
メリット	衝撃吸収力が高い	衝撃吸収力が低い
デメリット	コストが高い(7,900円/㎡)	コストが低い(2,400円/㎡)

実際の工事現場の様子



事故報告書からみる骨折事故防止効果

従来型特養事故報告書抜粋

- ベッド臥床中、床に転落 → 右大腿部頸部骨折
- トイレ後、床に座り込んでいた → 左大腿部頸部骨折

ユニット型特養事故報告書抜粋

- 車椅子自走中、前のめりになり転落 → 前額部発赤(軽傷)
- 歩行中バランスを崩し顔面から転倒 → 顔面内出血(軽傷)

事故統計からみる骨折事故防止効果

	従来型特養	ユニット型特養
転倒・転落事故 件数	84件	56件
うち骨折事故件数	5件	0件
骨折率	5.9%	0%

二重床構造による効果

明らかな骨折事故防止効果が認められた。これにより、様々な安心効果が得られた。

- ご家族様にとって「安心して任せらせる」
- ご入居者様にとって「安心して動くことができる」
- 職員にとって「安心して動く事を支援できる」
「安心して働ける職場環境」

今後の課題

ご入居者様が安心して暮らしを継続できるように、ご入居者、ご家族、職員、そして地域の皆様のさらなる安心に繋げるためには…

- 1.事故件数の減少
 - 日々の危険を予測発見できる体制作り
 - 有効な事故防止策を確実に実施する仕組み作り
- 2.従来型特養の床の安全性向上

どうですか？

あなたも床の虜になりましたか？